

2025年7月8日

各位

会社名 Chordia Therapeutics 株式会社
代表者名 代表取締役 三宅 洋
(コード番号：190A 東証グロース市場)
問合せ先 IR担当 吉良 亜実
TEL : 03-6661-9543
MAIL : ir@chorditherapeutics.com

株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所との共同研究開始のお知らせ

Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下「当社」）および株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：日高有一、以下「DWTI」）は、眼科疾患に対する治療薬開発に向けた共同研究（以下「本共同研究」）の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本共同研究におきまして、当社の抗がん薬パイプラインのうち探索研究ステージにあるキナーゼ阻害活性を有する特定化合物（以下「本化合物」）を用いて、眼科疾患に対する治療薬開発に向けた本共同研究の実施について合意しました。当社および DWTI は、各々が保有する技術、リソースならびに医薬品研究開発のノウハウを活用して、眼科疾患治療薬の創製を目指した研究に取り組みます。本共同研究の役割分担としましては、当社は本化合物に関するノウハウや研究材料の提供を担当し、DWTI は自社の眼科領域での評価技術を活かして薬効薬理試験等を実施し、本化合物の眼科疾患治療薬としての可能性を検証します。本共同研究の終了後は次段階の協業に向けて協議することとなっております。

本共同研究の範囲は、本化合物の眼科疾患に対する治療薬開発の検討に限定しております。そのため、当社は本化合物以外の抗がん薬パイプラインに関するがんを含めた他の疾患での研究開発や事業提携の可能性を継続的に検討していきます。

なお、本件が業績に与える影響は軽微です。

株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所について

デ・ウエスタン・セラピテクス研究所は、「日本発の画期的な新薬を世界へ」をビジョンとし、より有用な医薬品を早期に患者の皆様に提供することを目指しているバイオベンチャーです。キナーゼ阻害剤（低分子化合物）の創製に強みをもち、自社創製の上市薬を保有しています。現在、眼科領域に注力し、再生医療製品を手掛ける等、患者様の最適な治療の提供に貢献できるよう取り組んでいます。

詳細は、DWTI ウェブサイト (<https://www.dwti.co.jp>) をご覧ください。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chorditherapeutics.com/>) をご覧ください。